

アルカーティのゴール ユ・ジン・イエルデン



孤児院育ちのアルカーティにとって、サッカーはただのゲームではなく、サバイバルを意味した。鬼気迫るプレイに衝撃を受けたという謎の男に賛子として迎えられ、12歳の少年は初めて外の世界にふみだす。サッカー選手という夢にむかって、二人でゴールを決める日はくるのか。ソ連時代を背景にした、家族の再生と勇気の物語。

(アルカーティのゴール)

ウソつきとスパイ レベッカ・ステッド



12歳のジョージは引っ越し先のアパートで、同じ年の少年セイファーと出会う。ちょっぴり風変わりなセイファーは自称スパイ。セイファーに誘われてスパイの見習いになったジョージの任務は、上階にすむ黒ずくめの男・ミスターXの動向をさぐることにあった。

(ウソつきとスパイ)

うたうとはちさいのちひろいあげ 村上いし



高校1年生になった桃子は思いがけなく、短歌を詠む「うた部」に入部する。でも、不登校になったままの親友の綾美に対して部活のことを言い出せない。そればかりか、高校で友達を作らないという宣言までしてしまう。中学時代に起きたある事件に負い目を感じてのことだった。そんなある日の放課後、うた部で短歌甲子園に出場しようという話が持ち上がって一。

(うたうとはちさいのちひろいあげ)

おいぼれミツ パリ・ライ



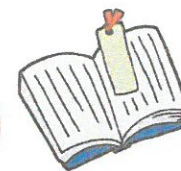
となりの家のじいさんは、とんでもない人種差別主義者だった！ インド系移民、善良なるシク教徒のシンー家の運命は…！

イングランド中部の多文化都市レスターを舞台にくりひろげられる、涙と笑いの異文化交流物語。

(おいぼれミツ)



2016年 すいせん図書①



風のヒルクライム 加部 鈴子



十三歳の誕生日に、父親の趣味のロードバイクを贈られた涼太。一方的なやり方に反発を覚え、勢いでレースに出ることになる。スタートに集う選手たち、みなそれぞれの人生模様を乗せ、ひとつのゴールをめざして、レースがはじまる。

それぞれの人生模様を乗せた、自転車疾走小説！

(風のヒルクライム)

川床にえくぼが三つ にしがき ようこ



主人公の文音は、中学2年の夏休み、親戚のお姉さんの研究についてインドネシアに行くことになる。初めての海外に、期待に胸はふくらむとともに、不安もいっぱいだった。事前に少しは調べてはいたものの、ついた途端に、飛行場の喧噪や、その空気、臭いに圧倒されてしまう。お姉さんの研究は、化石の発掘調査だ。たった8日間の滞在だけれども、文音は、どんな体験をするのだろうか？

文音の出会ったカルチャーショックと冒険と友情の物語。

(川床にえくぼが三つ)

思春期 小手鞠 るい



「未来が明るい、なんて、だれが決めたのでしょうか。」
「若さは素晴らしい、なんてだれが決めたのでしょうか。」
「行きたくない場所は、学校」
そして、家に帰っても「ふすまのような扉がついている勉強部屋に逃げ込む」毎日。「自分には価値がなく、生きていてもしかたがないのでは」という暗い気持ちで日々を送る中学生の「わたし」。不安、後悔、劣等感、秘密、孤独、嫉妬、自己嫌悪一。

小手鞠るいが描く直球思春期小説。

(思春期)

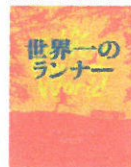
コミック密売人 ビエルメニコ・バッカリア



1989年ブダベスト。15歳のシャンドルは、仲間と奇妙な商売に手を染めていた。それは秘密裏に入手したアメコミを売りさばくこと。ところがコミックを提供してくれるミクラさんが失踪し、シャンドルの人生もまた思わぬ変転を迎える。独裁政権下のハンガリーを舞台に、思春期の少年の葛藤と成長を描く。

(コミック密売人)

世界一のランナー エリサベス・レアード



エチオピア生まれのソロモンは、11歳。夢は、世界一のランナーになることだ。ある日、いいちゃんのおともをして出かけた街で事件が起きて…。走ることが大好きな少年とその家族の、熱い思いにあふれた物語。

(世界一のランナー)

チボロ 菅野 雷虫



力も弱く、狩りも上手ではない少年・チボロ。そんなチボロに、姉のような優しさで世話を焼く少女・イレシュ。彼らの住む村に、神であるシカマ・カムイが滞在し、「魔物」たちが現れることを告げる。そして、その言葉どおり、大挙して現れた魔物たちは、イレシュをさらっていったのだった一。

アイヌ神話をモチーフに描かれる長編ビルドゥングスロマノ、ここに誕生！

(チボロ)

ぼくと象のものがたり リン・ケリー



家族のために、サーカスの象の世話係として住み込みで働き始めた10歳の少年ハスティン。非情な雇主の元で、象は少年を慕い守ろうとし、少年は象をかばい救おうとする。

強い絆でむすばれた少年と象のいのちの重さの物語です。

(ぼくと象のものがたり)

ヒトリコ 額賀 寿



クラスで飼っていた金魚殺しの濡れ衣から壮絶ないじめの対象となった日都子(ひとこ)。小5のその日から、彼女は「みんな」には属さない「ヒトリコ」として生きる決心をする。ヒトリコとして生きる彼女の心の支えはピアノとピアノ教師の偏屈なキュー婆ちゃんだけ。時は経ち、いじめの原因となった金魚を置いて転校した冬希が戻ってくる。癒えることのない深い深い心の傷を抱えて…。

つらくて、痛くて、理不尽で。でも心がじんわり温まる物語。

(ヒトリコ)

きみ江さん ハンセン病を生きて 片野田 青



本書の主人公である山内きみ江さんは、一九三四年生まれ。顔に神経麻痺がありますが、そのためかえってしわが目立ちません。体も小さいから「かわいいおばあちゃん」に見えますが、じつは「やる気十分の勝ち気なばあさん」です。かつてハンセン病患者が受けた「差別」と「偏見」、そして「いじめ」。

元患者である「きみ江」さんは、かけがえのない時間を生きる…。

(きみ江さん ハンセン病を生きて)

赤の他人だったら、どんなによかったか。 吉野 万理子



ある日、隣町で危険ドラッグを吸った犯人による通り魔事件が発生!教室はその話題でもちきりに。中学2年生の風雅は、容疑者が親戚だと知って、大ショック……。クラスメイトに知られたくないと思う。なのに、新学期になったら犯人の娘・聡子が、同じクラスに転校してきてしまった! いじめられている彼女に、してあげられることは——? 「他人とは何か」「血のつながりとは何なのか」……

前編で風雅、後編で聡子と対照的な2人の視点から描く物語。

(赤の他人だったら、どんなによかったか。)

2016年 すいせん図書②

向かい風に髪なびかせて 河合 二湖



「交際相手の理想に合わせている自分でいいのかな?」と悩む天然かわいい系の小春、過去の事故が原因で、ある一点を除けば完璧すぎる美貌のローテーション誌モデル・優貴、友人の叔母の影響でばっちりコスメを身につけて中学デビューした夢美、「かなりつきだしたあごをどうにかしたい」と、親を納得させてでも美容整形したい野乃……。どうにかなりそうで、どうにもならない、「外見について」の苦悩。気高き中学生の少女四人、それぞれの叫びを、それぞれの視点で描く。

(向かい風に髪なびかせて)

美雨13歳のしあわせれしび しめの ゆき



ある雨の日、学校から帰ると、家の中にはお料理のいい匂いが立ちこめていた。ほら、包丁の音も。大鍋にグツグツとなにかが煮えていて。コトコト音を立てている中くらいの鍋は、きっと肉じゃがだ。家事などしたこともないお父さんが超本格的な料理をしていて…なんとお母さんは家出していたー!!

家族のドラマは波瀾万丈。でも、心に美味しい、幸福な物語。

(美雨13歳のしあわせれしび)

わたしのタンポポ研究 保谷 彰彦



花や種子に隠されたしくみを探ると、その草花の生き方を知ることができる。タンポポの進化や生態を専門に研究している著者が、タンポポの「しくみ」とそこからわかるタンポポの「生き方」を紹介する。

(わたしのタンポポ研究)

月にハミング マイケル・モーバーゴ



シリー諸島の無人島で奇跡的に発見された少女ルーシー。彼女は、ひと言も話すことができなかった。献身的な家族に支えられて、少しずつ回復していくが、どこから来たのか、どうやって来たのか何もわからない。そんな中、ルーシードイツ人ではないかという噂が流れる。ドイツと戦争をしているさなかのイギリスにおいて、それは大変なことだった。それまでは、やさしく見守っていた近所の人たちが、ルーシーとその家族を攻撃してきたのだ。ルーシーはおびえ、家族は孤立していく。

戦争という悲劇を描くと同時に、記憶を失った少女の再生の物語。

(月にハミング)

リフカの旅 カレン・ヘレス



1919年、ロシア兵の迫害をのがれアメリカを目指すユダヤ人の一家。12歳の末娘リフカは途中かかった病いのため一人ヨーロッパに足止めされる……。アメリカ入国までの困難と不安や夢を、故郷に残った大好きな従姉に宛てた手紙で綴る。

(リフカの旅)

大さらいなやつがいる君のための

リベンジマニアル 豊島 ミホ



他人から理不尽な仕打ちを受け相手に憎しみを抱いてしまっている若者や、スクールカーストがはびこる教室や空気を読み合う狭い人間関係に息苦しさを感じている若者たちへのメッセージ。

高校時代に級友に傷つけられその精神的ダメージに長く苦しめられてきた著者が、自らの体験を振り返りながら憎しみとの向き合い方を語る。

(大さらいなやつがいる君のためのリベンジマニアル)

『課題・すいせん図書』

7月11日(月)より

貸出開始!